

ファイイン・スペシヤリテイ

# 無機物と高い密着性

## 電化製品など新領域展開

光触媒利用の環境改善機能素材を手掛けるベンチャー企業、カタライズ（本社・川崎市川崎区、早川修社長）は、内装化粧板、スチール家具、電化製品筐体などの光触媒コーティング事業に進出する。このほど、金属やタイルなど無機物の表面に塗布したときに高い密着性と膜強度を保ちつつ、光触媒効果を発揮する光触媒液の新製品「ヒカリアクターHシリーズ」を開発した。これまでは、衣類などの繊維用や壁紙など有機物に塗布する製品を品揃えし販売してきたが、同社として新たな領域に乗り出す。Hシリーズは12月からサンプルワークを開始し、業務用の新たな柱のひとつに育成する。

### 12月からサンプルワーク

新製品のHシリーズは、化粧版やタイルなど無機物の平面に塗布したときに高い密着性と膜強度を保ちつつ、光触媒効果を発揮する。抗菌剤と

のハイブリッド仕様や可視光対応品もラインアップする予定。ほぼ透明なので、下地の色を生かすことができる。1平方メートルあたり10～15センチを塗布す

る。スプレー、ローラー、刷毛などで塗料と同様に塗装できる。同社の試験によると、6時間後のアセトアルデヒド消臭率が95%と、他

社品と比べ3倍以上の消臭効果が得られたという。

オフィスなどで使われる内装化粧板、スチール家具、電化製品筐体などに利用可能。塗装業者などによる出荷後の塗布に加え、これら製品が工場生産出荷される前に塗布する場面も想定して営業活動を展開する。

同社は2006年3月設立のベンチャー企業。業務用では光触媒液「ヒカリアクター」の商品名で、衣類・カーテン・寝具などのテキスタイル製品の生地加工用に「Tシリーズ」、住宅・オフィス・自動車の内装向けなどに「Gシリーズ」、衣類や内装に可視光で光触媒機

能を發揮する「Vシリーズ」をラインアップ、家庭用では消臭スプレー

「光ミスト」を販売している。